



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

- 発行：令和5年8月
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2023-8 Vol.38

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「佐賀の魅力」

初めて唐津のセツ釜へ行っただけ、あまりにもキレイな景色に感動しました。
長崎から佐賀へ来て10年。様々な観光地などを巡り、すっかり佐賀県民になったつもりでしたが、まだまだ見つけていない魅力がたくさんあることを、この景色が教えてくれたような気がします。



- 巻頭言...2
- REPORT...3
- 令和5年度新規採用職員紹介...4~6
- タイムス特集...7
- 事業所TOPICS...8~9
- 教えて!○○先生 リレーコラム...10
- ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ...10

法人事務局 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	こども発達医療センター 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	オークス 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	かんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	からつ医療福祉センター 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-在宅事業部 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-好学会 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島子どもとおとなのクリニック 〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	かんざき日の隈寮 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	佐賀向陽園 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	居宅介護支援センターわいわい 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



在宅福祉の拠点として (地域と共に歩き、助けられて)

在宅サポートセンターかんざき清流苑
副施設長

城 島 悦 美

5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されました。

世界中をパンデミックの嵐の中に巻き込んだこの感染症のことを今更ながら思い返し、複雑な気持ちでおりますが、マスクを着用しての対面面会が再開され、ご利用者、およびご家族の方の明るく嬉しそうな表情を拝見でき、喜びを感じています。

令和5年、かんざき清流苑は開設26年目を迎えます。私は開設2年目から神埼町の委託事業である在宅介護支援センターにお世話になり始めました。臨床経験しかない私にとって、在宅支援は興味深く働ける喜びを感じたものです。平成11年は、翌12年からの介護保険制度の移行に向け、順調に開始出来るか、不安も大きかったのですが、無事介護保険サービス事業が始まりました。平成15年に、認知症対応型共同生活介護（以下、GH）を開設するとともに、平成25年在宅サポートセンターを開設して在宅福祉サービスの向上に努めてまいりました。

居宅介護支援事業所の支援も核家族化、高齢者2人世帯、独居高齢者、認知症の親とその子供世帯など困難な事例が増加し、早急に手を差し伸べる必要がある方が大変多くなってきました。団塊の世代が75歳以上になる2025年問題、遠い先の事のように感じていましたが、もう目の前に迫っています。重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築実現が言われており、それを受けて、地域医療連携事業においては、地元の医療機関、医師会を中心に、多職種の方々ともスムーズな関係が図られてきておりました。地域の方々から「かんざき清流苑でよかった、安心してお願いできた」とのお声をいただいております。在宅での生活が困難となれば、GHや有料老人ホームの入居を提案し、重度の介護度になれば、特養入所でご相談していくことが、ご本人、ご家族の方々にとっても安心されているように思います。季節ごとの行事への参加、ご協力、また日の隈寮合同での地域交流食堂「こんね」なども始まり、いつもかんざき清流苑を楽しみながら見守っていただき、地域の方々で支えていただけてきました。

しかしながら、この3年余りはコロナ禍の関係で行事も中止となり交流がなかなかできない状況にありました。全て初めて経験する事ばかり、コロナワクチンの接種計画、感染症対策、備品関係など戸惑いながらの日々でした。ご利用者

やご家族、職員も含め、本当に厳しい制約を課してきました。有料老人ホームに入居中の方からも、制限されることの苦情をたびたびいただきましたが、ご理解をお願いするしかありませんでした。

施設として厳しくしている中でも、コロナ感染者の発生がありました。医療機関が逼迫している状況の中、特養内で療養される方も多数おられました。GHや有料老人ホームからの感染者の方も入院できない方は、ゾーニングを行い特養内での療養ができたお陰で、感染拡大を防止でき、複合施設での強みを感じたところでした。またこども発達医療センター的野医師をはじめ、法人全体の協力のお陰で、非常事態においても迅速に対応ができ、本当にありがたかったと感謝しています。一方で、在宅支援の方の中には、本人様の感染はもとより、ご家族の方の感染や濃厚接触者であれば、福祉サービスを受けることが困難なことが多く、一番身近に相談を受ける介護支援専門員は心を痛め、何もできないジレンマを抱えこの感染症の恐ろしさを痛感していました。

かんざき清流苑はこの複合施設の強みを最大限に生かして、ご利用者、ご家族の方々に安心して最後まで生活ができるよう支援していく事が求められています。感染状況を見ながら、地域の方々との交流を再開し、親交を深め、信頼関係を築き、さらなる発展を目指していきたいと思っております。今後とも感染症には注意を怠らず、このような世界的なパンデミックが起こりうることを教訓にしていきたいと思っております。

また選ばれる施設においては、職員の心身の健康も大事です。かんざきかんざき清流苑は、令和2年度さが最高表彰（がん対策部門）を受けました。がん治療と仕事の両立支援プランを設計し、取り組んでいる事など職場環境を認めていただきました。職員1人1人が働きやすい環境作りに今後も努めて行かなければならないと思っております。介護の現場は人手不足が深刻ですが、私たちは地域包括ケアシステムの中の福祉施設の役割を十分に受け止め果たしていくことが必要であり、尊厳のある自分らしい暮らしの実現を支援していきたいと思っております。

最後になりましたが、このコロナ禍にあたり、かんざき清流苑のご利用者及びそのご家族、職員及びそのご家族、地域の皆様方、行政機関の方々、そして法人関係の方々に支援をいただいたことに改めて感謝申し上げたいと思っております。

新任 紹介

からつ医療福祉センターに1名の医師を新たに迎えました。

令和5年4月より赴任



古賀あかり先生

●からつ医療福祉センター 外来診療部医療課診療係

宮崎大学医学部卒業
久留米大学病院より赴任
耳鼻科学会 専門医

●所属学会等
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
日本めまい平衡医学会
日本嚔下医学会

外国 人材

外国人材の受け入れについて

社会福祉法人佐賀整肢学園では、令和2年度よりミャンマーやネパールからの外国人労働者の受入を行っています。令和5年6月現在、法人内で働く外国人は、正規職員として採用している方と留学生を合わせて23人になりました。

タパススマ オークス 出身国：ネパール 入職日：令和3年4月1日	キンシンアウン オークス 出身国：ミャンマー 入職日：令和4年4月16日	ティティアウン オークス 出身国：ミャンマー 入職日：令和4年4月16日	メイノーノーリン オークス 出身国：ミャンマー 入職日：令和4年7月2日
ヌワーワーリン オークス 出身国：ミャンマー 入職日：令和4年7月2日	ターパアンジュ かんざき清流苑 出身国：ネパール 入職日：令和3年5月1日	シュレスタソバ かんざき清流苑 出身国：ネパール 入職日：令和3年5月1日	シンタクリイスミリティ かんざき清流苑 出身国：ネパール 入職日：令和4年4月1日
タパシルジャナ かんざき清流苑 出身国：ネパール 入職日：令和4年4月1日	ミヤティンギー かんざき清流苑 出身国：ネパール 入職日：令和5年4月20日	ピュープュー かんざき清流苑 出身国：ミャンマー 入職日：令和5年4月20日	チーレルー からつ医療福祉センター 出身国：ミャンマー 入職日：令和2年12月19日
オジャサンギータ からつ医療福祉センター 出身国：ネパール 入職日：令和3年4月1日	ネウパネアンジャナ からつ医療福祉センター 出身国：ネパール 入職日：令和3年4月1日	ユインユインウィン からつ医療福祉センター 出身国：ミャンマー 入職日：令和4年4月4日	トゥザーチョ からつ医療福祉センター 出身国：ミャンマー 入職日：令和4年5月13日
ノウエータータサン からつ医療福祉センター 出身国：ミャンマー 入職日：令和4年5月13日	ルシリン からつ医療福祉センター 出身国：ミャンマー 入職日：令和5年5月1日	スリンナダー からつ医療福祉センター 出身国：ミャンマー 入職日：令和5年5月1日	ガハヤムクマリ 佐賀向陽園・わいわい 出身国：ネパール 入職日：令和3年4月1日
モーテイカウン 佐賀向陽園・わいわい 出身国：ミャンマー 入職日：令和5年4月1日	ポーイータン 佐賀向陽園・わいわい 出身国：ミャンマー 入職日：令和5年4月1日	チツェポ 佐賀向陽園・わいわい 出身国：ミャンマー 入職日：令和5年4月1日	



新採職員紹介

今春は34名の新規採用職員を新たに迎え、令和5年4月3日に中尾清一郎理事長より辞令が交付されました。また、新規採用職員を代表して、こども発達医療センター配属の大澤尚弘さんが誓いの言葉を述べました。新たな仲間を加え、法人全体で、職員は約963名になりました。(4月1日現在)



こども発達医療センター



オークス



かんざき清流苑



からつ医療福祉センター
からつ医療福祉センター好学会



糸島子どもとおとなのクリニック



かんざき日の隈寮



佐賀向陽園・わいわい

誓いの言葉

私たちは、時代の要請を的確に把握し、総合力を高めて医療・福祉サービスの提供に、先進的かつ積極的に取り組みます。

私たちは、利用者とその家族の思いをわが思いとして、利用者の明るく、充実した暮らしの実現に努めます。

私たちは、医療・福祉の専門家としての誇りと熱意を持って、常に自己研鑽に努め、利用者の処遇向上を図ります。


私たちは、地域の医療福祉の拠点施設として、その機能と役割を十分に発揮できるよう、地域社会との連携と交流促進に努めます。



こども発達医療センター
大澤 尚弘
総合職
総務課



こども発達医療センター
本村 和也
生活支援員
第1療育課



こども発達医療センター
大川 尚也
生活支援員
第2療育課



こども発達医療センター
秋田 由稀
生活支援員
西棟療育課



こども発達医療センター
保田 麗
保育士
第1療育課



こども発達医療センター
山口 千鶴
保育士
第2療育課



こども発達医療センター
永野間 萌
看護師
第2療育課



こども発達医療センター
桐谷 康裕
看護師
第2療育課



こども発達医療センター
川原 未琴
看護師
第3療育課



こども発達医療センター
上野 秀将
作業療法士
作業療法科



こども発達医療センター
伊東 徳香
言語聴覚士
言語療法科



こども発達医療センター
境 鈴華
言語聴覚士
言語療法科



こども発達医療センター
新宮 未知
言語聴覚士
言語療法科



こども発達医療センター
吉井 裕美
言語聴覚士
言語療法科



オークス
タパスマ
生活支援員
在宅サービス課



オークス
キンシンアウン
生活支援員
在宅サービス課



オークス
ティティアウン
生活支援員
在宅サービス課



かんざき清流苑
ターパアンジュ
介護福祉士
入所サービス課



かんざき清流苑
シュレスタソバ
介護福祉士
入所サービス課



からつ医療福祉センター
稲富みやび
理学療法士
リハビリテーション課



からつ医療福祉センター
伊東 臣
理学療法士
リハビリテーション課



からつ医療福祉センター
徳永 拓也
言語聴覚士
リハビリテーション課



からつ医療福祉センター
浦方 健一
看護師
看護生活課



からつ医療福祉センター
山崎 有桂
児童指導員
看護生活課



からつ医療福祉センター
檜田 理絵
生活支援員
入所サービス課



からつ医療福祉センター
松田美千代
生活支援員
入所サービス課



からつ医療福祉センター
ネットパネアンジャナ
生活支援員
入所サービス課



からつ医療福祉センター
ユインユインウイン
生活支援員
入所サービス課



からつ医療福祉センター
オジャサンギータ
生活支援員
看護生活課



からつ医療福祉センター
在宅事業部
松本 七海
保育士
児発センター課



からつ医療福祉センター
好学会
菊池 明音
児童指導員
女子棟課



糸島こどもとおとなのクリニック
宗田美奈子
看護師
医療課



かんざき日の隈寮
林 智子
生活支援員
入所サービス課



佐賀向陽園・わいわい
ガハヤムクマリ
生活支援員
入所サービス課

新採職員からのひとこと

こども発達医療センター

総合職 大澤 尚弘

今年度より、こども発達医療センターで総合職として働かせていただくことになりました。右も左も分からないことばかりですが、周囲の先輩方の温かいご指導により、不安を覚えることなく前向きに業務へ取り組むことができています。どの業務においても責任をもって丁寧に取り組むことを心掛け、挑戦と反省の日々を繰り返しつつ、1つ1つできる仕事を広げております。

今後も謙虚かつ学び続ける姿勢を忘れることなく業務に励み、利用者の方や職員の皆さんとの信頼関係を築きながら、当センターの力となれるよう努力を重ねていきます。

かんざき清流苑

介護福祉士 ターパアンジュ

社会人として新たな生活がスタートしました。利用者の方一人一人の関わり方や介助方法が異なるので、わからないことがまだまだたくさんあります。職員の方々が温かく迎えていただき、とても楽しく仕事をしています。一日も早く全ての業務ができようになりたいです。利用者の皆さんのことを深く理解して、体調や気持ちを汲み取って、対応できる力を身につけたいと思います。まだまだ未熟ですが、今後もたくさんを学びながら頑張っていこうと思います。学校で学んだことを活かし、利用者の皆さんに喜んでいただけるケアを目指したいです。今後ともよろしくお祈りいたします。

からつ医療福祉センター好学舎

児童指導員 菊池 明音

今年度より、からつ医療福祉センター好学舎で児童指導員として働かせていただいております。

社会人一年目で不慣れなことも多々あり、緊張や不安を持ちながらの毎日ですが、先輩方に教えていただき頑張っております。常に冷静さを持ち、的確な判断をしていくことの大切さを感じているところです。

これから、子ども達の明るい笑顔と、前向きに取り組む姿勢を多くの場面で引き出せるように、日々の指導に全力で取り組みたいと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。

かんざき日の隈寮

生活支援員 林 智子

大学を卒業し、今年度よりかんざき日の隈寮で生活支援員として働かせていただいております。早くも数ヶ月が経ち次々と時間が流れていく毎日に焦りを感じますが、職員や利用者の皆様に多くのことを教えて頂きながら充実した日々を送ることができています。様々な障害や背景を持たれた利用者の皆様との関わりは、新しい価値観の発見であり、自分自身の考え方、感じ方、関わり方など見つめ直す機会となっています。私の今の目標は“何事も挑戦する”を掲げています。小さなことも大きなことも多くの経験を積み重ねて、1人の人間として1歩でも成長できるよう笑顔を忘れずに努めていきたいと思っております。今後ともご指導の程よろしくお祈りいたします。

オークス

生活支援員 キンシンアウン

今年度より在宅サービス課の生活支援員として働かせていただいております。

介護の経験はまだ浅く、利用者の方との関わり方に自信を持って不安や緊張を感じることもあります。また、自分の支援について利用者の方がどう感じているのかを悩むこともあります。

しかし、先輩方に日々支えてもらいながら支援方法やコミュニケーションの取り方を学び、学校で教わったことも活かしながら利用者ひとりひとりに寄り添った支援ができるようになりたいと思います。今後ともご指導宜しくお祈り致します。

からつ医療福祉センター

理学療法士 稲富 みやび

今年度より、からつ医療福祉センターで理学療法士として勤務させていただくことになりました。

興味があった小児の分野で、さらに大学時代に実習でお世話になったからつ医療福祉センターに就職できたことが嬉しく毎日楽しく働くことができています。

現場に入って早数ヶ月、利用者の方を知る、理解することの重要性を改めて実感しています。まだまだ身につけるべきことや学ぶべきことは沢山ありますが、先輩方を見習い、自分は理学療法士だと胸を張って言えるよう日々努力していきます。

今後ともご指導宜しくお祈り致します。

糸島こどもとおとなのクリニック

看護師 宗田 美奈子

4月より糸島こどもとおとなのクリニックに看護師として勤務することになりました。入院施設とは違いリハビリや福祉の利用者の方には笑顔も多く活気があります。今まで経験したことがない業務内容も多いですが、スタッフの皆様のあたたかいご指導と子供たちの笑顔やかわいい姿に癒され頑張っています。

まだまだ覚えることも多く日々苦戦していますが、早く利用者の皆さんの顔と名前や特徴を覚えて、スムーズに対応できるようになりたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

佐賀向陽園・わいわい

介護職員 ガハヤムクマリ

佐賀向陽園でアルバイトとして勤務させていただき、今年度より新規採用職員として採用となりました。アルバイトと新規職員との責任の違いを感じており新たな人生の始まりだと思っています。学校で学んだ事や勤務の中で職員さんから優しく教えていただいたことを前向きに進んでいきたいです。利用者さんが笑顔で安心して過ごしていただける環境をつくれるように頑張ります。

勤務の中で行われるケアも幅広く、身体介護や業務内容をいち早く覚えて事業所に貢献できるように精一杯努力したいと思っています。まだまだ未熟でご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、今後ともよろしくお祈りいたします。

タイムス特集

令和4年度の「学園タイムス」は、Vol.34～37を発売しました。職員から応募があった表紙写真を振り返ります。

平成27年度から始めた表紙写真の公募も、令和4年度で8年目を迎えました。「佐賀・糸島で撮影した写真」を条件として、自由なテーマでの募集したところ、四季折々の表情を楽しむことが出来る、魅力的な写真をたくさん応募いただきました。応募していただいた皆さんありがとう

ございました。写真が採用された職員には後日記念品を贈呈致しますので楽しみにお待ちください。

今年度も引き続き表紙写真を職員より募集します。採用された方には記念品を贈呈させていただきます。詳細は下記の募集要項をご確認下さい。



「みんなのチューリップ」
撮影：かつちやき園芸クラブさん
(こども発達医療センター)



「朝の月灯り」
撮影：松浦 愛二さん
(からつ医療福祉センター)



「秋の風景」
撮影：かんざき清流苑
グループホーム職員一同

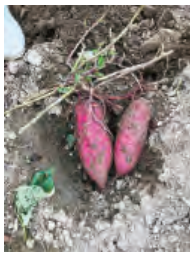


「冬の思い出」
撮影：遠田 佐衣さん
(法人事務局)

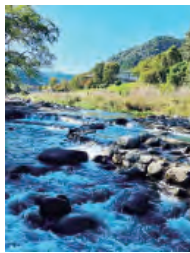
令和4年度 その他の応募写真



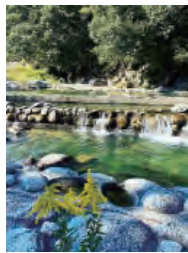
鷹島大橋



さつまいも



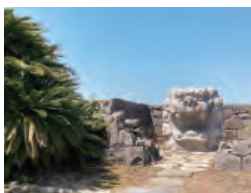
熊の川



熊の川



清流苑の夕焼け



ぼたん緑の丘



佐賀城本丸歴史館の桜



令和5年度 表紙募集について

今年度も表紙写真を大募集します！今年度もテーマはありません。たくさんの方に気軽に応募していただけたら、という思いから、このようなかたちをとっています。

条件は「佐賀・糸島でとった写真であること」。風景はもちろん、食べ物や飲み物、催事など、佐賀や糸島の魅力が伝わってくる写真を募集します。締切もありませんので、いつでも、何でもお気軽にご応募ください。もちろんスマートフォンで撮った写真もOKです。たくさんのご応募、お待ちしております。



上記QRコードから
メールで簡単に応募できます！

ご感想やお問い合わせや写真の応募、また特集内容のご要望や学園 FOCUS の自薦他薦は、各事業所の編集委員までどうぞ。

編集委員一同

- 法人事務局
- こども発達医療センター
- オクス
- かんざき清流苑
- からつ医療福祉センター
- かんざき日の隈寮
- 佐賀向陽園・わいわい

- 遠田 佐衣
- 定松菜津子
- 佐藤真理奈
- 竹下亜由美
- 田中 邦典
- 山口 未佳
- 口石 美優
- 宮本 稔也

節分行事

2月

オークス



デイサービスでは、利用者の皆さんに日々の生活を少しでも楽しんでいただけるよう様々な企画を行っています。2月は、節分に因んで鬼の顔の拡大版を作成し、鬼の顔に点数を付けて的当てゲームを行いました。上位10名の方のみが獲得できる賞品はお菓子の詰め合わせを用意し、ゲームでは利用者の方に点数を競い合ってもらいました。自力で投げる事が困難な方はボールを変えてみたり、職員が手を添えたりと利用者の方の状況に応じ投げ方を工夫して行いました。1人5投ずつでしたが、一球一球慎重に投げられる方、思いきり投げすぎ

て的を外されてしまわれる方など様々で、皆さん真剣そのものでした。利用者の方々や職員みんなで「頑張れー!」「あー惜しい!」と声が飛び交い、とても盛り上がりました。

また、別の日には節分の豆まきに見立てたボール当てを行いました。BGMが流れ、職員が本格的な鬼に扮して登場しました。利用者の方は、突然の鬼の登場にも屈することなく鬼を退治することができ、今年も皆さん健康に過ごせそうです。

今後も利用者の方が笑顔になられるような機会を考え、職員と一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

(在宅サービス課 生活支援員 西村 愛子)



配食サービス

2月

かんざき清流苑



神崎市生活困窮者支援体制構築「プラットフォーム整備事業補助金」の交付決定を受け、2月2日に節分お楽しみディナー配食サービスを行いました。地域の独居高齢者や生活困窮者等に対する支援活動を行い、地域福祉の向上を推進することを目的とした事業で、今回の配食サービスは、物価高騰の影響が大きい神崎市在住の高齢者世帯の方を対象としたものです。

地域の皆さんに美味しく食べていただけるように厨房職員が心を込めて調理し、各部署の職員協力のもと無事にご自宅を訪問し提供することができました。配食サービス後のアンケートでは「涙が出るくらい美味しかったです」「元気が出ました」「豪華なお弁当で宝石箱のようでした」とのお声をいただきました。食事を通して地域の方々に喜んでいただくことができ、厨房職員一同安心しました。今回初めてこのような取り組みに関わることで、地域福祉の向上に貢献できたことを嬉しく思います。

(総務課 主任 管理栄養士 前山 朋子)



春のお花見

3月

かんざき日の隈寮



かんざき日の隈寮では、毎年桜やチューリップが咲く時期にお花見を開催しています。

今年の花見は、花冷えもなく暖かい日で天気にも恵まれました。日の隈公園(神崎市)や築山児童公園(大和町)をまわり、満開に咲く桜のアーチを楽しみながらドライブも満喫しました。男女神社でのチューリップ見学では、色とりどりに咲く花をしっかりと目に焼き付けられていました。

次の停車地点は與止日女神社。鯉のぼり見学とジュース休憩も行い、ゆっくりとした時間を過ごすことができました。利用者の方より「今年もきれいだったね。また、来年行こうね」と声があがり、花見を満喫された様子でした。コロナウィルスも5月より5類に分類され、利用者の方も外出行事に期待を膨らませていらっしゃいます。今後も利用者の皆さんの思い出となるような企画・行事を考えていきたいと思います。

(入所サービス課 副主任 黒岩 友樹)



事業所 TOPICS

(2月～5月)

花見会

3月

からつ医療福祉センター

久里双水園にて、3月23日に花見会を兼ねた焼肉会を実施しました。

今回の花見会では、少しでも利用者の皆さんに喜んでいただけるように、焼肉の他に焼きそばやお好み焼き等を職員の手で調理し、利用者の皆さんに食べていただきました。

感染対策をとりながら、利用者の皆さんには5～6人のグループで会場に来ていただき、食べ終わられたら次のグループと交替していただきました。

利用者の皆さんからは、笑顔がみられ、「おいしかった」「ありがとう」等の声が聞かれました。

おいしさのあまり急いで口に入れようとされる利用者の方もおられ、職員が「急がれなくてもいいですよ」と声をかける場面もありました。



当日はあいにくの雨模様で、残念ながら桜の木の下で花見を楽しみながらの花見会とはなりませんでした。雨が降りこまないスペースを使用して、無事に実施する事ができました。

コロナ禍の中、まだ施設内外の行事が制限されている現状ですが、少しでも利用者の皆さんが楽しんで施設生活を送れるようにしていきたいと思います。(久里双水園 係長 中島 亮)



浴室（槽）改修工事

4月

佐賀向陽園・わいわい



令和4年度赤い羽根共同募金配分金を受け、浴室（槽）改修工事を行いました。角張った危険箇所や老朽化による浴槽内のタイル剥がれなどの改修ができ、また、浴槽内に階段を設置したことで、浴槽内へ入りやすくなりました。改修後の入浴時には、利用者の方より「きれいになり、気持ちよかあ」「洗い場が広くて動きやすくなった」など、より安全に入浴を楽しまれておられる様子が伺えます。また、洗い場が広がったことにより、職員も介助しやすくなり、介護負担軽減にも繋がりました。

県民の皆様の貴重な浄財をいただき、本当にありがとうございました。

(佐賀向陽園・わいわい 事務長 大島 和美)

こどもの日交流会（オンライン）

5月

こども発達医療センター



コロナ禍で様々な行動が制限される中、私たち職員も研修等でリモートを使用する機会が増えました。その経験を行事で活かさないかという職員のアイデアから、当センターでは、昨年度初めて行事のリモート配信を取り入れました。そして今回、新たな取り組みとして、清流苑・向陽園・わいわいと合同でオンライン交流会にチャレンジしました。

昨年度保護者向けにオンラインで行事を配信した経験を基に、必要機材や承諾書等の事前準備を進めながら、スムーズに進行できるようプログラムを単純化しました。今回は4施設が参加することもあり、行事自体がまとまるのだろうか?と心配もありましたが、打ち合わせの中で各施設に「わ

かりました、やってみましょう!」と快諾していただき、心強く感じました。

当日、実際に他施設の利用者の皆さんの顔がプロジェクターに映った瞬間、互いに笑顔や笑い声が聞こえほっとしたことを覚えています。じゃんけん大会では歓声や応援、職員と「次は何をだそうか」「グーがいい人?」など、コミュニケーションを楽しみ、最後まで目がキラキラ輝いていました。

今回の行事では、どんな形でも人との関わりが笑顔につながるという大切さを改めて実感しました。コロナウイルスは5類感染症に移行しましたが、他施設との対面での交流が再開できるのは、まだ先の事と思います。園外活動や交流会の規制がある中で、少しでも利用者の皆さんの笑顔につながる活動と支援を目指していきたいと思います。

最後に、じゃんけん大会はわいわいチームの優勝でした。

(第1病棟 児童指導員 古川 修三)

教えて!●●先生

第1回 『うちの給食室から』

今号より、新コーナー「教えて!○○先生」が始まりました。佐賀整肢学園にはさまざまな施設があり、900名を超える職員が働いています。その各課や係にスポットをあて、お仕事の様子や、日常に役立つ豆知識等を掲載していきます! 記念すべき初回は、法人内の3施設の給食室から、人気メニューを紹介しします。

こども
発達医療センター



- ・おにぎりライス・エビフライ
- ・コンソメスープ・カミカミ和え
- ・節分ボーロ

かんどき清流苑



- ・ちらし寿司・鶏の唐揚げ
- ・たけのこの煮物
- ・茶碗蒸し・フルーツ

からっ
医療福祉センター



- ・ごはん・冷やし中華
- ・焼き餃子・いちごムース
- ・ふりかけ

施設ごとに、担当の管理栄養士が季節感を大切に献立や行事食を考案しています。色合いや形など、目でも楽しめる工夫がされていて、見ていただけでお腹がすいてきますね。

Relay Column



オークス
在宅サービス課就労継続支援B型
サービス管理責任者 主任
たけした こうじ
竹下 功二

就労支援を始めてから早、9年目を迎えますが、お仕事で農作業をする機会が多くなりました。

それまでは畑仕事は小学生の田植えの体験程度でしかしたことがなく、実家の稼業が農家でもなかったため、農業経験はほぼありませんでした。鍬の使い方も、一から農業経験のある上司に指導を受けたり、小さな耕運機も上手に使用せず、右往左往しているところを見かねた近所の農家さんに助けてもらったりと、周囲の方々の手助けを受けながら、何とか今日までをやってこられた8年間でした。

農作業にも慣れたころ、上の娘が小学生と下の娘が年少になり「子供と一緒に野菜の収穫をしたら良い思い出になる。小さな畑を庭に作れないか。」という案が家族で上がった時、「正直、土いじりはもう十分…」と心の中で思っていました。

ところが、いろんな野菜を作り、収穫を繰り返し、庭の土が畑の土に変わっていく様子が段々と面白くなっていく自分に気づいてしまいました。今では、上の娘も小6になり、ほとんど収穫をしなくなりましたが、下の娘とジャガイモの収穫をしながら、「次は何をうえようか…」とすっかりライフワークの一つになってきています。

最後に、法人各施設をはじめ、県内のスーパー6店舗に納品させていただいており、利用者の工賃の重要な収入源の柱となっていることに大変感謝しています。これからも利用者、職員一同、新鮮でおいしい野菜を提供していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

NEXT…こども発達医療センターのあの人にバトンタッチ!!

令和5年2月～令和5年4月

協力ボランティア

- 【こども】 整肢学園友の会様、親和会様
- 【清流苑】 ビハラー神埼様

施設見学来訪

- 【こども】 国際医療福祉大学言語聴覚科2名様
- 【かど・好・絆】 (か)NPO法人i-style 1名様、第一中学校 1名様

実習生受入

- 【こども】 西九州大学社会福祉学科1名、佐賀大学医学部1名、佐賀女子短期大学地域みらい学科1名、西九州大学短期大学部地域生活支援学科1名
- 【オークス】 西九州大学社会福祉学科2名、西九州大学短期大学部地域生活支援学科2名、佐賀女子短期大学地域みらい学科2名
- 【清流苑】 佐賀女子高校 5名
- 【かど・好・絆】 (か)西九州大学社会福祉学科2名、佐賀女子短期大学地域みらい学科2名

学園タイムス

表紙写真大募集!

学園タイムスの表紙を飾る写真を職員の皆さんから募集しています。佐賀県及び糸島市で撮影した写真であれば、風景はもちろん、食べ物や飲み物、催事等、どんな写真でもご応募いただけます。下記QRコードからメールで簡単に応募可能です。



たくさんのご応募、お待ちしております。

見どころ

今回のタイムスの見どころは、今年度新規採用職員の紹介です。新たな出会いに感謝し、ともに頑張っていきましょう。

だんだんと暑さが厳しくなってきました。コロナが5類に移行されましたが、引き続き感染対策や熱中症対策をしながら、楽しい夏の思い出を作っていきたいですね。

